

第 15 回上天草市環境審議会議事概要

日時：平成 27 年 7 月 23 日（木）14 時～15 時 40 分

場所：上天草市役所大矢野庁舎 2 階庁議室

■審議会委員

No.	所 属 等	氏名（敬称略）
1	熊本大学沿岸域環境科学教育研究センター	逸 見 泰 久（会長）
2	崇城大学工学部エコデザイン学科	田 代 敬 大
3	上天草市区長連合会	森 山 高 信
4	天草漁業協同組合上天草総合支所	北 岡 久美子 ※欠席
5	上天草市商工会	瀧 下 夕 秀
6	一般社団法人天草四郎観光協会	木 下 朋 江 ※欠席
7	特定非営利活動法人シートラスト	嶋 田 昭 仁
8	熊本県地球温暖化防止活動推進員	松 本 俊 介 ※欠席
9	市教育委員会	福 田 直 理
10	公募委員	藤 本 正 ※欠席

■事務局及び関係者

1	市民生活部長	緒 方 雅 文
2	市民生活部 環境衛生課長	井手口 康 隆
3	市民生活部 環境衛生課 環境係長	濱 田 忠
4	市民生活部 環境衛生課 環境係	吉 野 誠

■次第

第 15 回環境審議会	配布資料
1 開会	資料 1 地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定に向けて
2 議事	資料 2 区域施策編の概要について
(1)上天草市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の位置付けについて	資料 3 上天草市環境基本計画見直し案について
(2)上天草市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）記載事項の検討について	別紙 地球温暖化対策実行計画（区域施策編）策定の流れについて
(3)上天草市環境基本計画見直し案について	別紙 環境基本計画における数値目標（指標）の実績調査表
(4)その他	
3 閉会	

■議事要旨（◎：議長、○：委員、●：事務局）

1 開会

◎議長

それでは、ただ今から第15回環境審議会を始めたいと思います。今回も事務局が録音のうえ、議事概要を作成します。

それでは議事に入ります。まず一番目、上天草市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の位置付けについて事務局よりお願いします。

2 議事

（1）上天草市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の位置付けについて

（2）上天草市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）記載事項の検討について

●事務局

資料1「地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定に向けて」及び資料2「区域施策編の概要について」の説明

◎議長

ありがとうございました。それではただ今の説明に関して質問か意見等ありましたらお願いします。

○嶋田委員

私も環境保全のNPO法人ですが、海水の上質を目指して海草を使って浄化しようと取り組んでいます。アカモクは干潟の1.2倍の浄化機能があるということで、併せて二酸化炭素を吸収して酸素を発生させるという面でもよいものになっています。京都議定書では、日本は排出権取引などで目標を達成したと思いますが、地方が都市と取引をすることも検討されたようですが、民主党の事業仕分けにあいまして、いきなり終わってしまいました。そういった中で3年計画が実行できませんでした。

上天草はワカメの養殖が盛んです。海草についても、二酸化炭素の削減に貢献していると思いますので、そういった農水産物を含めた対策を取り入れたらおもしろいと思います。

●事務局

本市の特色が出るような対策だと思いますので、今後検討します。それを踏まえて、具体的な施策は次回に提案します。

◎議長

国や他の市町村は、森林や農産物による二酸化炭素の吸収をケースに入れていませんか。

●事務局

調べた限りではありません。適応策として、例えば地元の農産物の利用の推進という部分で掲げているところはあります。

◎議長

抽象的には書けると思いますが、数値にするととなると難しいですね。例えばノリを養殖すれば削減されますね。

●事務局

それによる削減効果は出しにくいと思いますが、市の施策の一つとして盛り込むことは可能であると考えています。

◎議長

例えば海がどれだけ二酸化炭素を吸収しているかということはまだ分からない部分があります。上天草は周りが海ですから、海が二酸化炭素を吸収してくれていればそれだけでもクリアできると思います。しかし、それは数値的に分かりませんから、難しいですね。特色として、そういうものを対策・施策の中に入れることも重要なことだと思います。

○田代委員

計画策定については、積極的で評価できるものだと思います。問題なのは、目標設定が難しく、市民の方へ誤解を与えやすいと思います。目標設定と対策との間にかなり距離がありますので、達成に直ちに結びつくものではありません。

現況推計では、人口や製造出荷額が減少すれば、自然に削減されていくと思いますので、その点で誤解を与えやすいです。按分法で推計することはやむを得ないとしても、その点は注釈をつけてわかりやすくした方がよいと思います。

推計は按分法によるものにせざるを得ないと思いますが、対策との関係が直結しにくいです。むしろ、目標は設定するにしても、独自にこういう対策をやっていくとした方が現実的ではないかと思います。

なぜ温室効果ガスを削減しなければならないのか、ということ認識していただく情報の提供も必要です。例えば三角の海水温のデータなどがあればいいですね。

◎議長

冬の海水温が確実に上昇してきているというデータは出せると思います。

○田代委員

普通は温暖化と言ってもなかなか関心がないと思いますので、気温データや海水温データなどの基礎データを集めて示すことで温暖化への関心が高まると思います。

◎議長

上天草市の地球温暖化の影響を受けるものとして、海藻が取れなくなる事があげられます。人口が減るから目標値が下がるというのではなく、一人あたりの二酸化炭素の排出量をどう削減するかというところをとらえる必要があります。

●事務局

先ほどお話のあったことが今回の区域施策編作成の課題であり、施策の実施が目標達成に結び付くとは必ずしもなりません。

人口減少により目標値が減少したということではなく、一人当たりの二酸化炭素排出削減させることを考え、なぜ、削減しないといけないのかを市民に理解いただくことがこの計画で一番重要な部分と考えます。

また、温暖化対策として上天草市としてはどのようなことができるのかということをも市民に危機感を持ってもらいながら取り組める内容にしたいと思います。

○田代委員

目標と施策の整合性は必要なく、目標としては一般的に言われているものをおいておくにしても、現実ではそうではなく上天草市の産業の中で具体的に何ができるのかが重要です。

○嶋田委員

天草では、やはり海産物などは豊富ですから、海に関する身近な取組が大事ですね。

○田代委員

やはり海は重要なポイントで、「海と共に生きる」というようなものが大事です。身近な天草の海水温の上昇や天草の海の生態系の変化の話は市民に感じやすいと思います。

○嶋田委員

海をきれいにするには、家庭からの排水が海に流れているので、家庭からの排水をきれいにする必要がありますね。

●事務局

施策については次の審議会で提案しますので、そちらで議論いただき、今回の皆さんの意見を盛り込んだ形で作成します。その後、パブコメを経て2月に最終確認をいただきたくよう進めてまいります。

◎議長

パブコメや最終確認まで余り期間もありませんので、できるだけ早い段階で粗めのものでも構いませんので、委員の皆様を示して検討いただいた方がよいですね。

また、実行計画の背景や意義などは国の作っているものと地域単位では違ってくるため難しいとは思いますがよろしくお願いします。

続きまして議題の3番目、上天草市環境基本計画見直し案について事務局より説明をお願いします。

(3) 上天草市環境基本計画見直し案について

●事務局

資料3「上天草市環境基本計画見直し案について」の説明

◎議長

ありがとうございました。ただ今の説明に関して質問か意見等ありましたらお願いします。

○瀧下委員

レジ袋の削減推進店舗数のところですが、協力店舗数が増えるということよりもレジ袋を使わないということが重要であって、使わなくなった人が多くなるように有料店舗数を増やせばいいのではないのでしょうか。また、マイバックを使っている人の割合を指標にしたらどうですか。

●事務局

有料化については、ほとんどが大型店舗であり小型店舗への有料化は難しいところです。マイバックの使用割合については、毎年削減推進店舗に調査を依頼しているのでその結果をこの項目に追加することは可能です。増減については、そちらを確認いただいた方がわかりやすいと思います。

○森山委員

レジ袋について、ある店舗では3円で有料ですが、異なる店舗では無料で提供しています。環境問題の取り組みとして行っていることですので、両方有料で実施いただくようお願いしてはどうでしょうか。また、有料の3円は安い気もします。ごみの減量化については、区長連合会でも何年か前に4年間ほど取り組んだ経緯があるので、レジ袋と

ごみの減量化については、さらに推進をしていただきたいと思います。

◎議長

今回の見直しについて、目標は本来変えるべきでなく達していないなら施策をどうするか、目標に近づけるにはどうした良いかというものを考えるべきだと思います。イノシシのように現状に合わないものは説明が不足しているので、説明を書いた上で追加の情報を入れる必要があると思います。目標をクリアしているという言い方がおかしいですよ。イノシシについても、駆除数が多いから目標クリアしたのか、少ないと頭数が減ったので目標クリアなのかそもそもその説明が書かれていません。

●事務局

平成27年の中間目標が823頭で、最終の32年度が856頭なので、計画を当初作成した際は捕獲頭数が多くなる方が目標クリアと推測されます。しかし、おっしゃられるとおり捕獲数だけでは、自然環境の保全のどう結びついているかわかりづらい為に、今回はイノシシの被害面積や件数などの追加などについて提案するものです。また、事務局案以外にも「こういったもので図れるのではないか」というものがあれば委員の皆様より挙げていただければ検討したいと考えています。

○森山委員

イノシシにしても松くい虫にしても、環境保全の取り組みは農林水産課や観光おもてなし課などと密接に関わってくるため、もっと庁内の横の連携を常日頃からとるようにすることが必要だと思います。そのことにより新聞等のマスコミにも取り上げられ、ひいては観光にも繋がってくると思います。

●事務局

もっと庁内の連携を図ることが基本計画の目標達成に繋がってくるものだと感じています。

○田代委員

私も逸見会長と同じ意見で、基本計画にも掲載のPDCAサイクルで考えると、Plan（計画の企画・立案）とDo（施策の実施）は行ったわけですので、中間見直しはCheck（施策実施状況の点検・評価）のときであって評価は必要です。目標達成できたものはその要因、むしろ達成できてないものについてはその要因として整理も必要ですが、まずは、各指標の評価を行い、それをAction（計画の見直し）に繋げていくという流れで進めていく必要があります。

●事務局

次回の審議会の前に、指標の現状と施策に対する評価を資料として提示し、施策の内容を見直すのかの検討材料としていただきたいと思います。それにより施策の追加や見直しを進めていこうと思います。

○田代委員

稚魚の放流は事業主体はどちらになりますか。

●事務局

農林水産課です。

○田代委員

以前、漁協の方からお聞きしましたが、放流をしないと魚の資源が厳しいとのことでした。上天草市のみならず、天草市や有明海や八代海の沿岸部の自治体もやるのか、い

ろいろなやり方があると思いますが、そのあたりは是非ご検討いただければと思います。

●事務局

次回会議の前に、施策の評価を行いたいと思います。

◎議長

放流や松くい虫の駆除などは市の予算でしていますか。

●事務局

市の予算です。

○嶋田委員

松くい虫は毎年問題になっていますが、抜本点な解決策はありませんか。

●事務局

以前からこの問題には取組んでいますが、なかなか解決しませんね。

○森山委員

イノシシを捕獲した人には委託料を払っていますか。

●事務局

委託料として8千円を払っています。

◎議長

シカも問題になっていますが、イノシシにしても捕獲しても処分場や加工場が少ないので利用しにくいと思います。シカ肉のカレーを販売すると聞いていますが、そのように利用しないとなかなか捕まえる方も増えてこないですよ。北海道では何十頭も捨てられていたというニュースもありました。

●事務局

流通の仕組みがある程度確立されているといいですが、今のところはまだ難しいですね。

◎議長

海や川の水質については私は専門分野なので、例えば、COD や BOD に関しては、県が毎月測定していますので、1 2月の平均値を見れば実際の数値がわかると思います。また、浄化槽の管理方法や、農業肥料の量でも海や川の水質は変化してきますので対策は講じられると思います。

(4) その他

●事務局

次回については、11月を予定しております。事前に資料を送付しますので、再度ご審議いただきたいと思います。

◎議長

別件ですが、海フェスタは上天草市はどのようなことをやられますか。

●事務局

毎年実施していますが、海の日 of クリーン作戦を海フェスタの一環として取組んでいます。

◎議長

私も海フェスタの委員ですが、ビジターセンターでは海ほたると干潟の観察会をして

います。

○田代委員

ふるさと納税についてですが、他の自治体でもさまざまな特典をつけて町をアピールしていると思います。上天草市の場合は、例えばウニやハモなど水産資源が豊富ですが、環境保全と絡めてアピールするとさらに協力を得やすいのではないかと思います。水産物の出荷量は環境の変化により確かに減少してくるかもしれませんが、しかし、今日の会議で話のありました放流事業など、こういう取組みをして環境保全に努めていますということも絡めるとよいと思います。

○嶋田委員

東京の築地市場では上天草産のハモがシェア 1 位のようなようです。

◎議長

そういう面からしても、市役所での横のつながりが重要になってきますね。それでは本日の会議はこれで終了します。ありがとうございました。